

第2回  
宿毛市公営事業審議会

宿毛市水道課

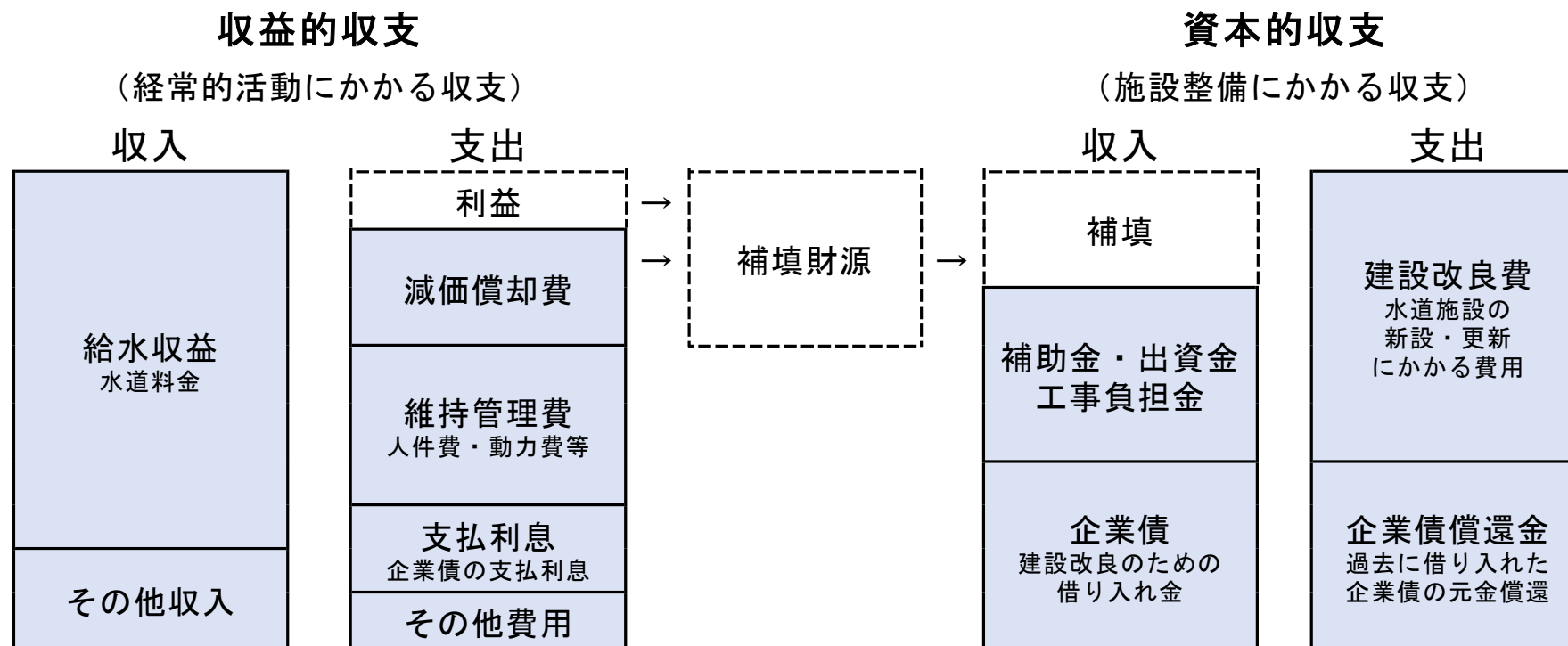


## 目次

1. 宿毛市水道事業の経営状況
2. 今後10年間の財政推計
3. 水道料金の見直し

1. 宿毛市水道事業の経営状況
2. 今後10年間の財政推計
3. 水道料金の見直し

## 水道事業会計の概要



水道事業の会計の仕組みは、収益的収支と資本的収支で構成されています。収益的収支で発生した利益及び減価償却費を財源として、資本的収支で不足する額を補填しています。

## 収益的収支（3条予算）

損益計算書

サービス提供に関する予算  
当年度の収益や費用として計上しなければならないもの（＝支出の効果が当年度のみに及ぶ）  
※現金支出が伴わないものも含む

## 資本的収支（4条予算）

貸借対照表

施設建設に関する予算  
事業実施に費やす資本の増減（＝支出の効果が翌年度以降に及び、将来の収益に対応する）  
※資産の取得、増設、施設の効率向上

料金収入	一般会計繰入	その他の収入	
運用費用 （人件費、監理費等）	企業債利息	非現金支出	純利益

原則、収益的収支で利益を生み出し、非現金支出を加えた内部留保資金※を、資本的収支の不足に充当する。

※内部留保資金：減価償却費等、実際にお金の支出がない費用計上によって生じた資金

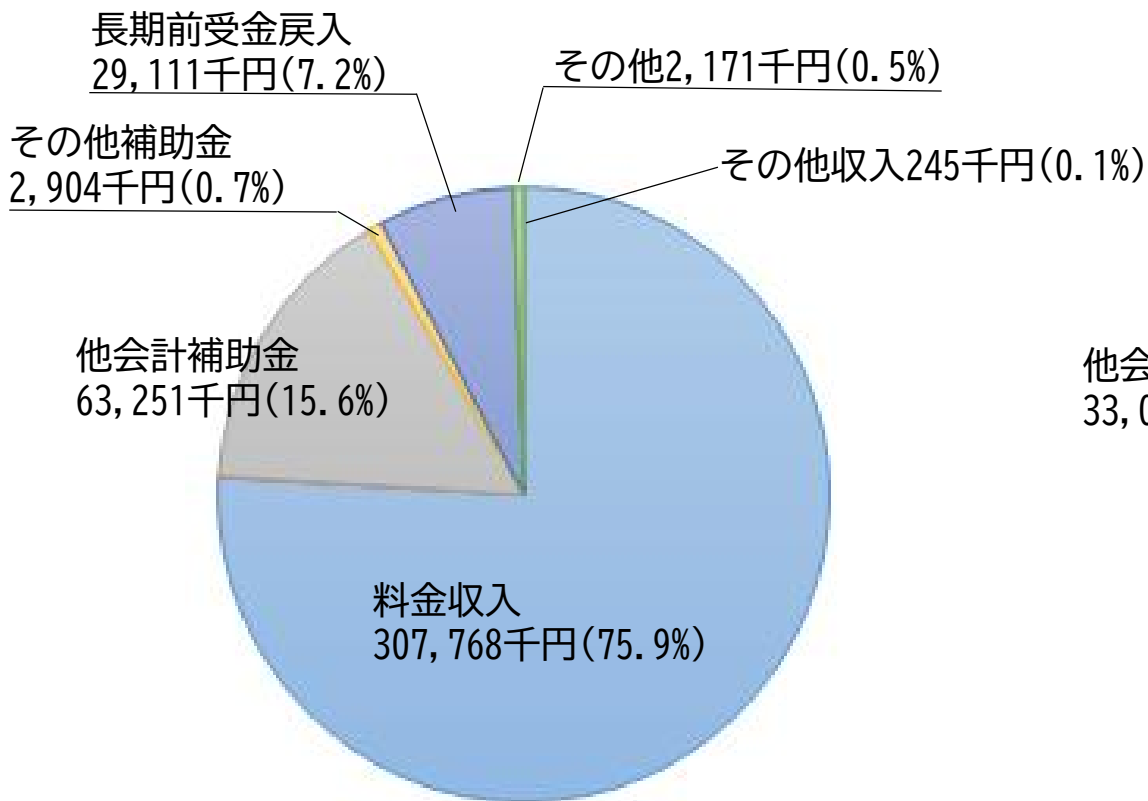
補填

一般会計繰入	企業債	国補助	その他	資本的収支不足額
建設改良費			企業債償還金	

※広島県安芸太田町資料より抜粋

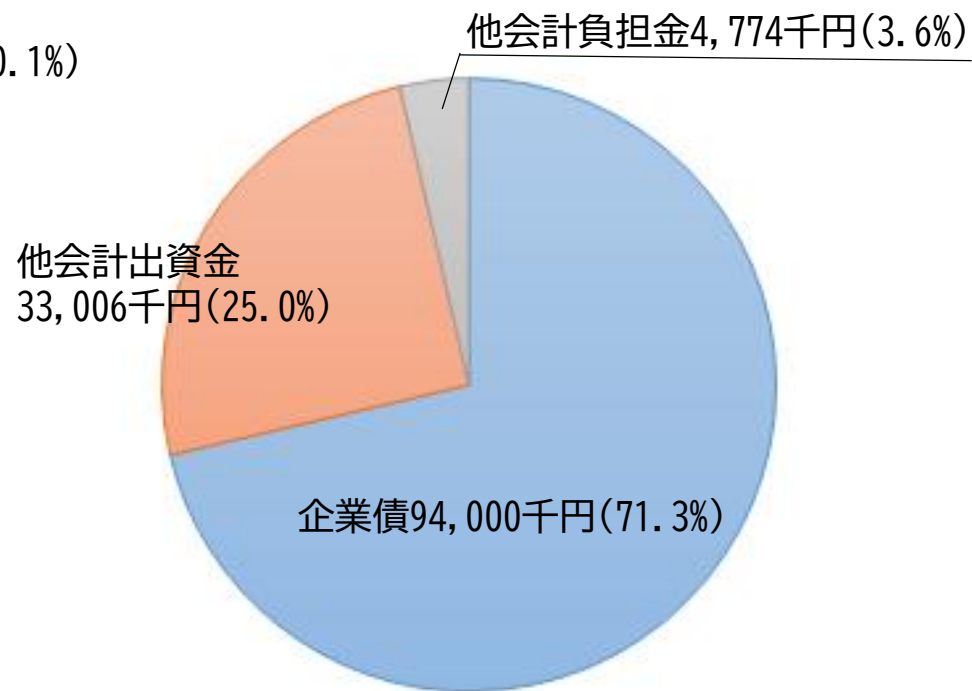
## 事業収入（3条予算）

合計405,450千円



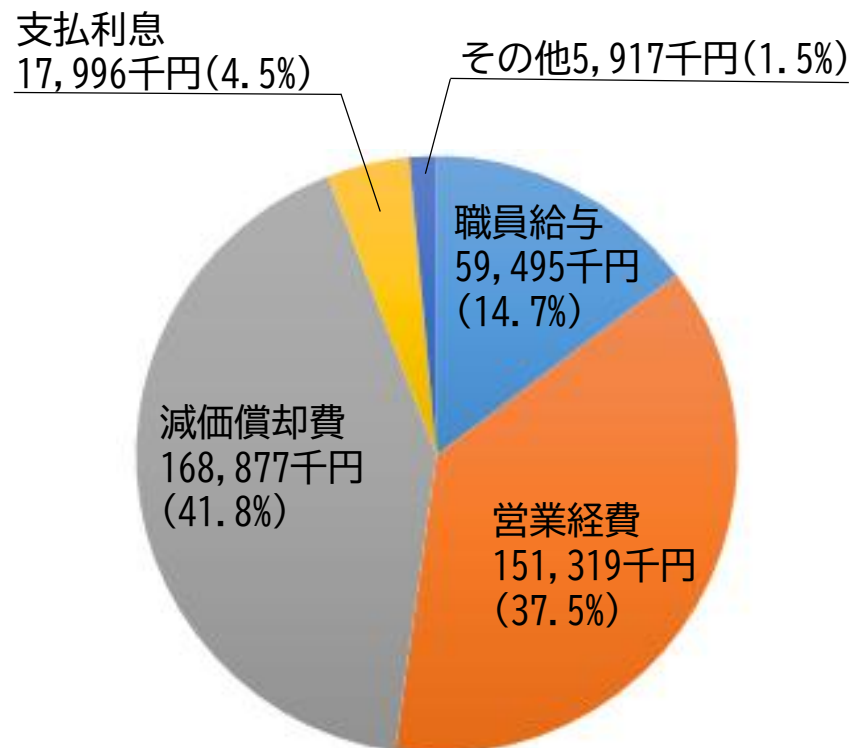
## 資本収入（4条予算）

合計131,780千円



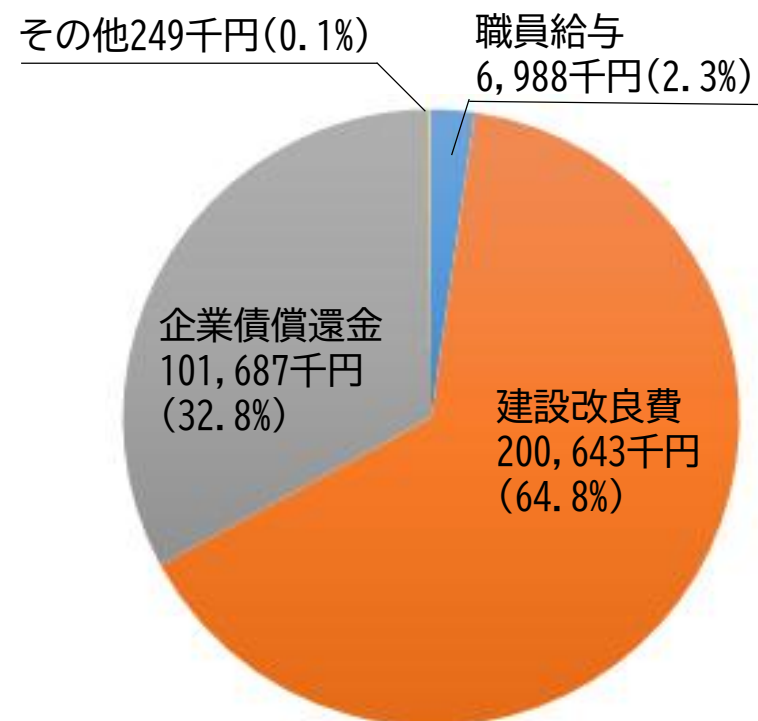
## 事業支出（3条予算）

合計403,604千円



## 資本支出（4条予算）

合計309,567千円



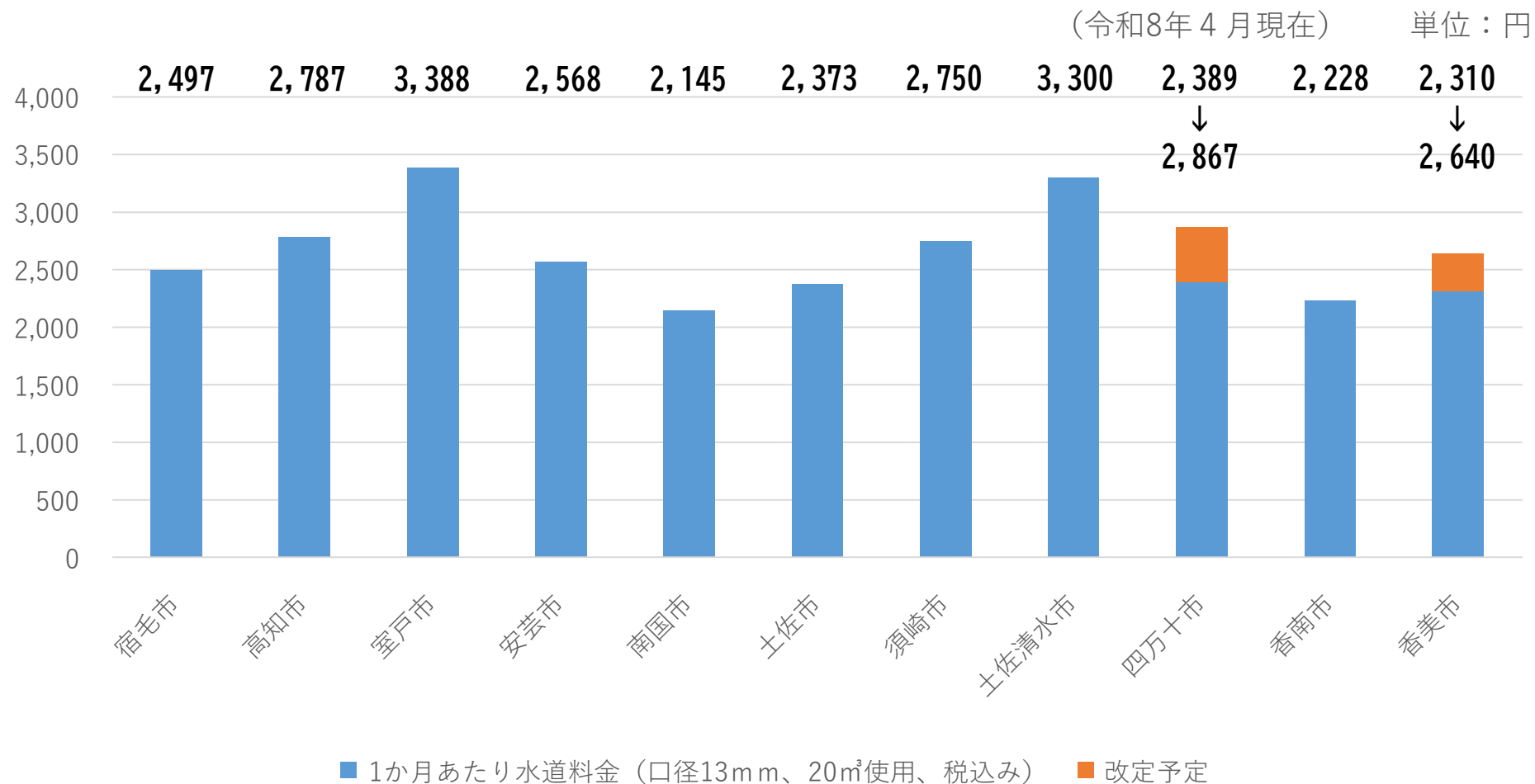
# 宿毛市水道事業の経営状況

	令和6年度	【参考】県内類似団体（令和5年度）					全国平均 (R5)	指標の意味
	宿毛市	宿毛市	四万十市	土佐清水市	安芸市	須崎市		
料金回収率 (%)	82.16	80.94	100.02	98.79	94.03	106.43	97.82	給水にかかる費用がどの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準などを評価することが可能。100%を下回る場合、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味する。
給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	146.17	139.80	134.98	154.64	137.40	158.83	177.56	有収水量1m <sup>3</sup> あたりについて、どれだけの費用が掛かっているかを表す指標 明確な数値基準はない。経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められる。
水道料金 (円)	2,270	2,270	2,172	2,750	2,335	2,500	3,411	1か月20m <sup>3</sup> 当たりの家庭料金（税抜） （出典：各市経営比較分析表より）  全国平均は1～2万人未満の料金 （出典：水道統計より）

※四万十市はR8.10より2,607円に改定予定

## 県内11市の料金比較(給水条例により市が算定)

四万十市(令和8年10月予定)、香美市(令和9年5月予定)が改定予定です。

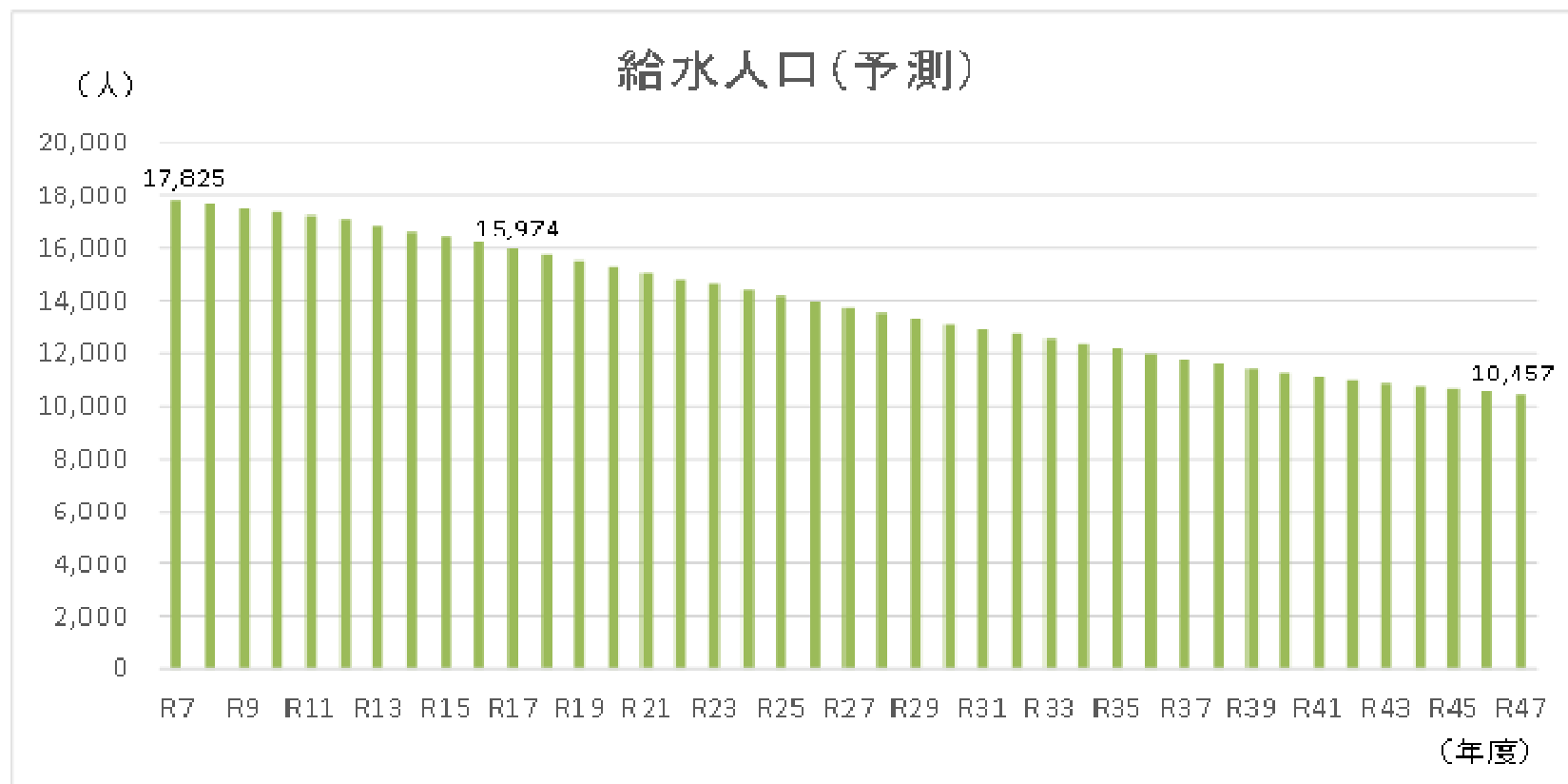


1. 宿毛市水道事業の経営状況
- 2. 今後10年間の財政推計**
3. 水道料金の見直し

## 将来の事業環境

### 1. 給水人口の予測

給水人口の推計は、行政区域内人口にR6普及率（98.76%）を乗じて算定しています。  
行政区域内人口は、宿毛市人口ビジョン（将来展望）の値を基にしています。



## 将来の事業環境

### 2. 有収水量（水需要）の予測

13～20mm口径 各年度の給水人口に一人あたりの有収水量（R4～R6の平均値）を乗じた

25～100mm口径 R4～R6にかけての有収水量の減少率を算定し今後も同様に減少すると仮定

船舶・工業用 R6の有収水量が継続するものと仮定



R6	2,562
R7	2,553
R8	2,535
R9	2,517
R10	2,450
R11	2,482
R12	2,464
R13	2,438
R14	2,412
R15	2,387
R16	2,361
R17	2,335

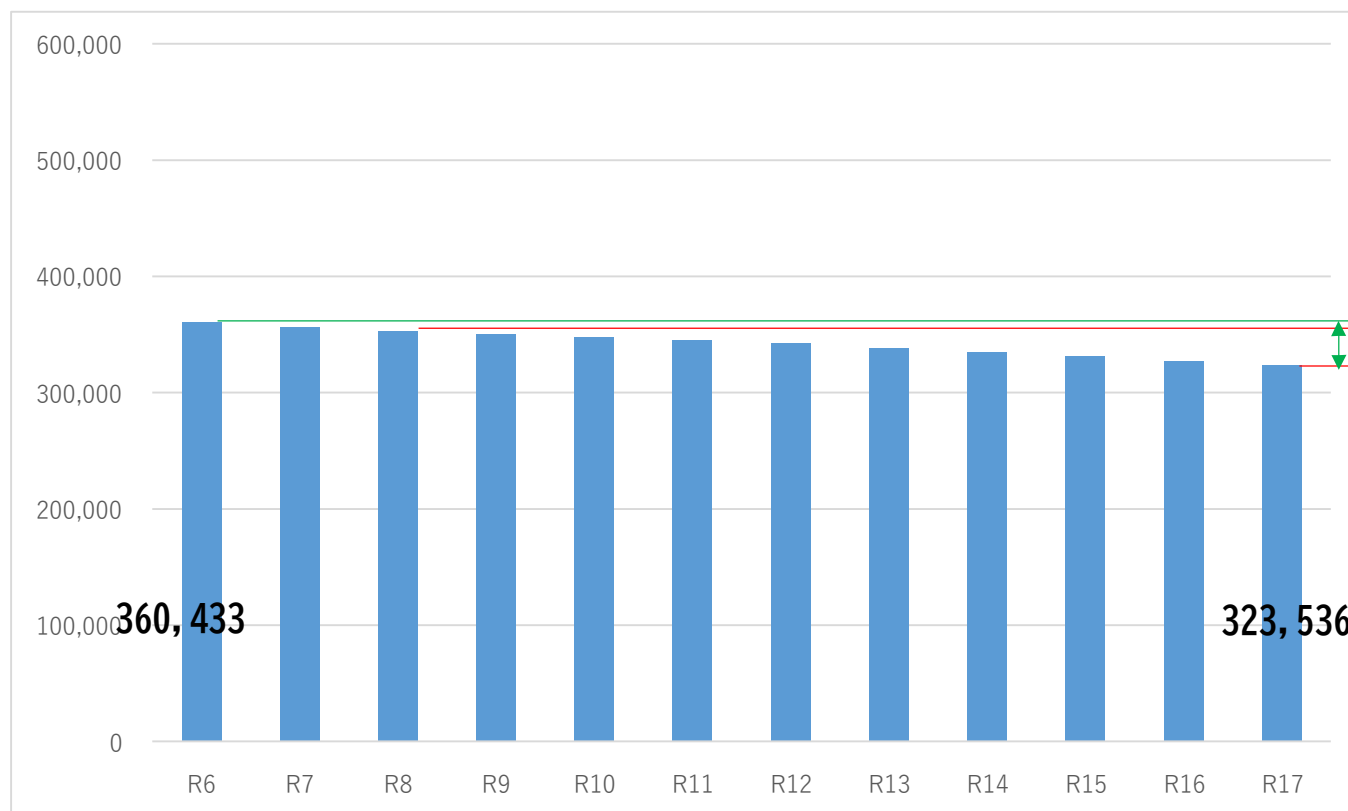
## 将来の事業環境

### 3. 料金収入の見通し

有収水量×料金収入単価で求めた

13～100mm口径：R4～R6の実績平均、船舶・工業用：R6実績

料金改定なし



R6:R17比較  
36,897千円の減少

累計約2億1千万円の収入減

R8:R17比較  
29,267千円の減少

累計約1億3千万円の収入減

## 将来の事業環境

### 3. 料金収入の見通し

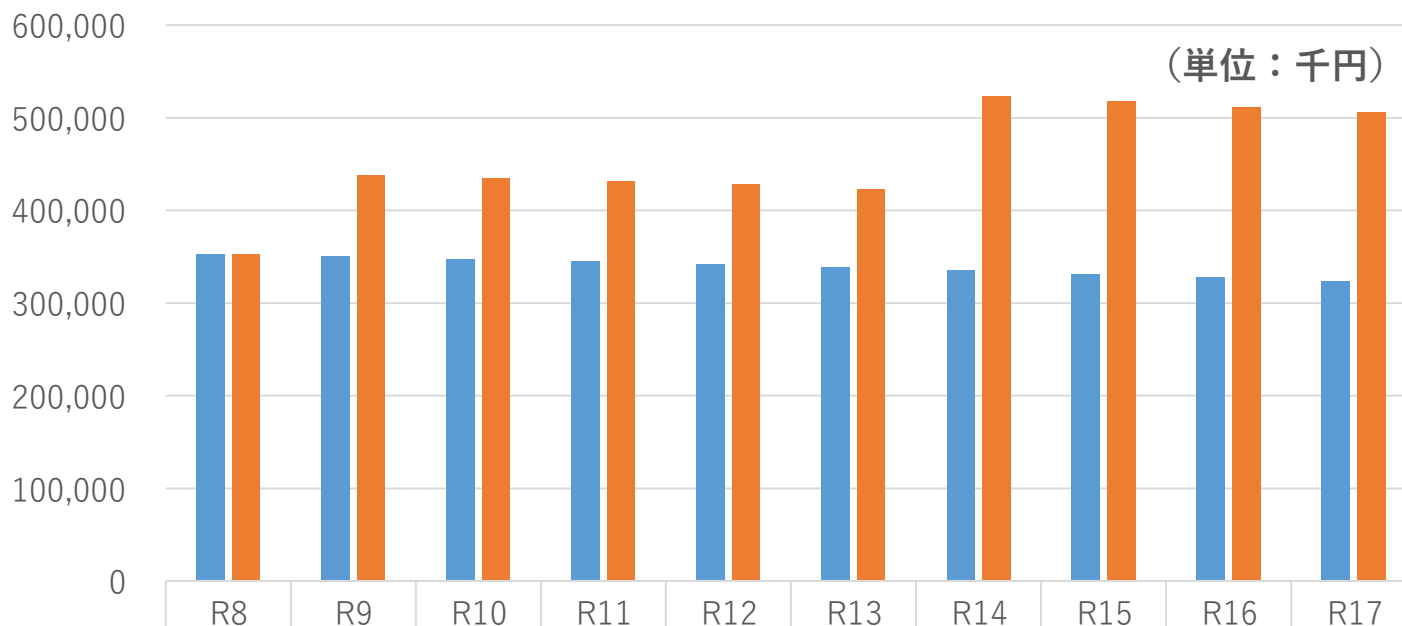
有収水量×料金収入単価で求めた

13～100mm口径：R4～R6の実績平均、船舶・工業用：R6実績

料金改定あり

#### 改定原案

- ・令和9年度25%増
- ・令和14年度25%増



■ 料金改定なし	352,803	350,162	347,524	344,879	342,252	338,497	334,746	331,000	327,273	323,536
■ R9とR14に料金改定した場合	352,803	437,702	434,405	431,099	427,815	423,121	523,041	517,188	511,364	505,525

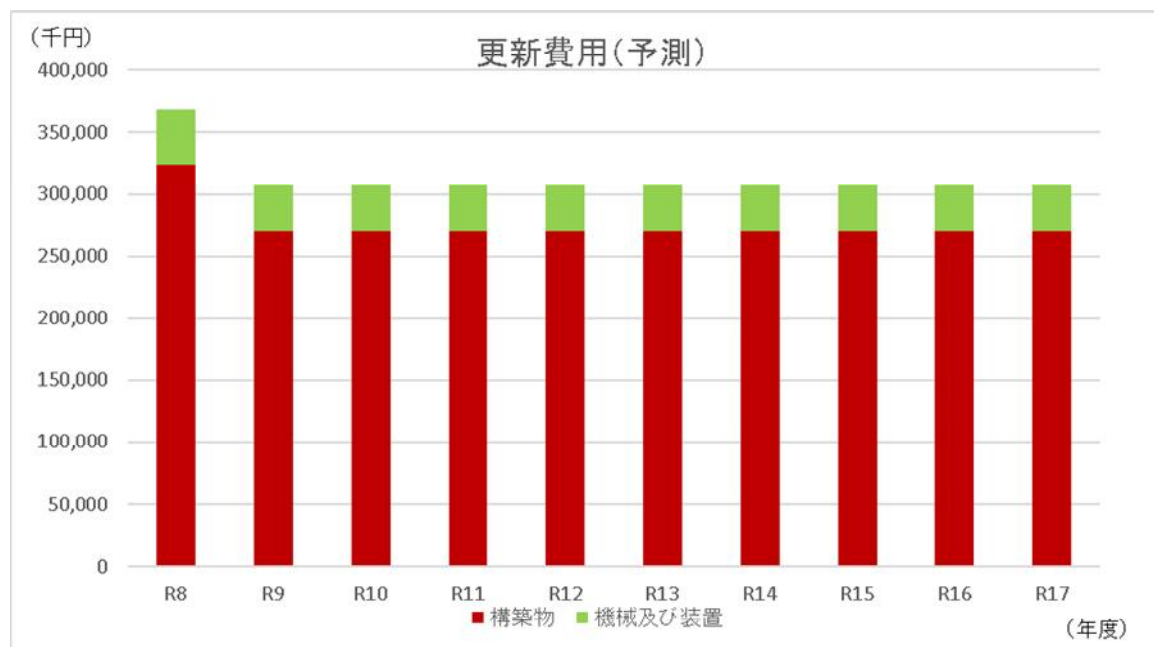
## 将来の事業環境

### 4. 施設の見通し

施設は老朽化が相当に進んでいる

R17までは老朽化が進んでいる管路や施設のうち優先度の高いものから更新予定

今後については中長期的に計画的な更新を行っていく予定



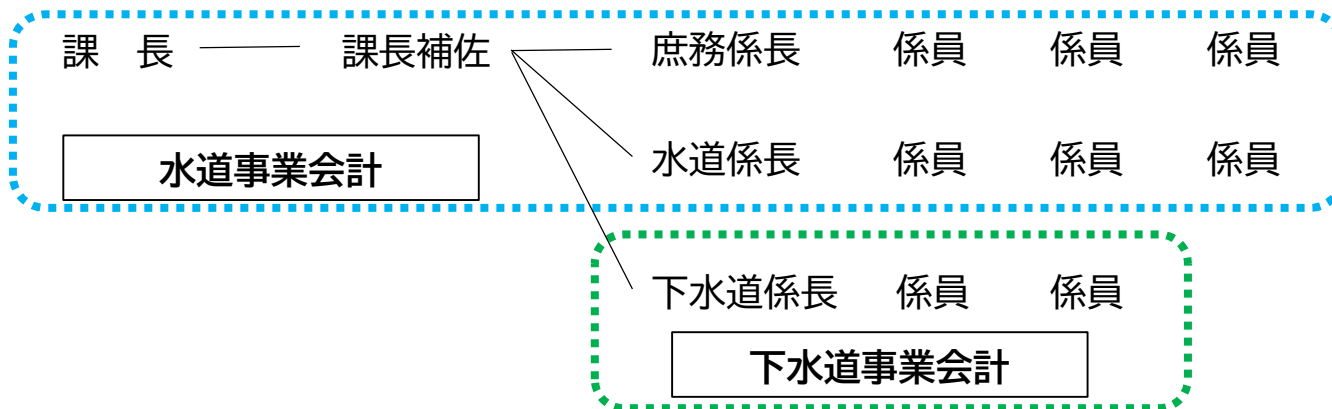
	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
構築物	323,925	269,857	269,916	269,975	270,035	270,095	270,156	270,217	270,280	270,342
機械及び装置	44,172	36,799	36,807	36,815	36,823	36,831	36,839	36,848	36,856	36,865
合計	368,097	306,656	306,722	306,790	306,857	306,926	306,995	307,065	307,136	307,207

## 将来の事業環境

### 5. 組織の見通し

現状、必要最低限の人員で業務遂行している  
今後も現状の体制を維持し、事業運営することを想定

宿毛市水道課 R8組織図



1. 宿毛市水道事業の経営状況
2. 今後10年間の財政推計
- 3. 水道料金の見直し**

## 現在の水道料金について

平成26年4月より適用

(税抜き)

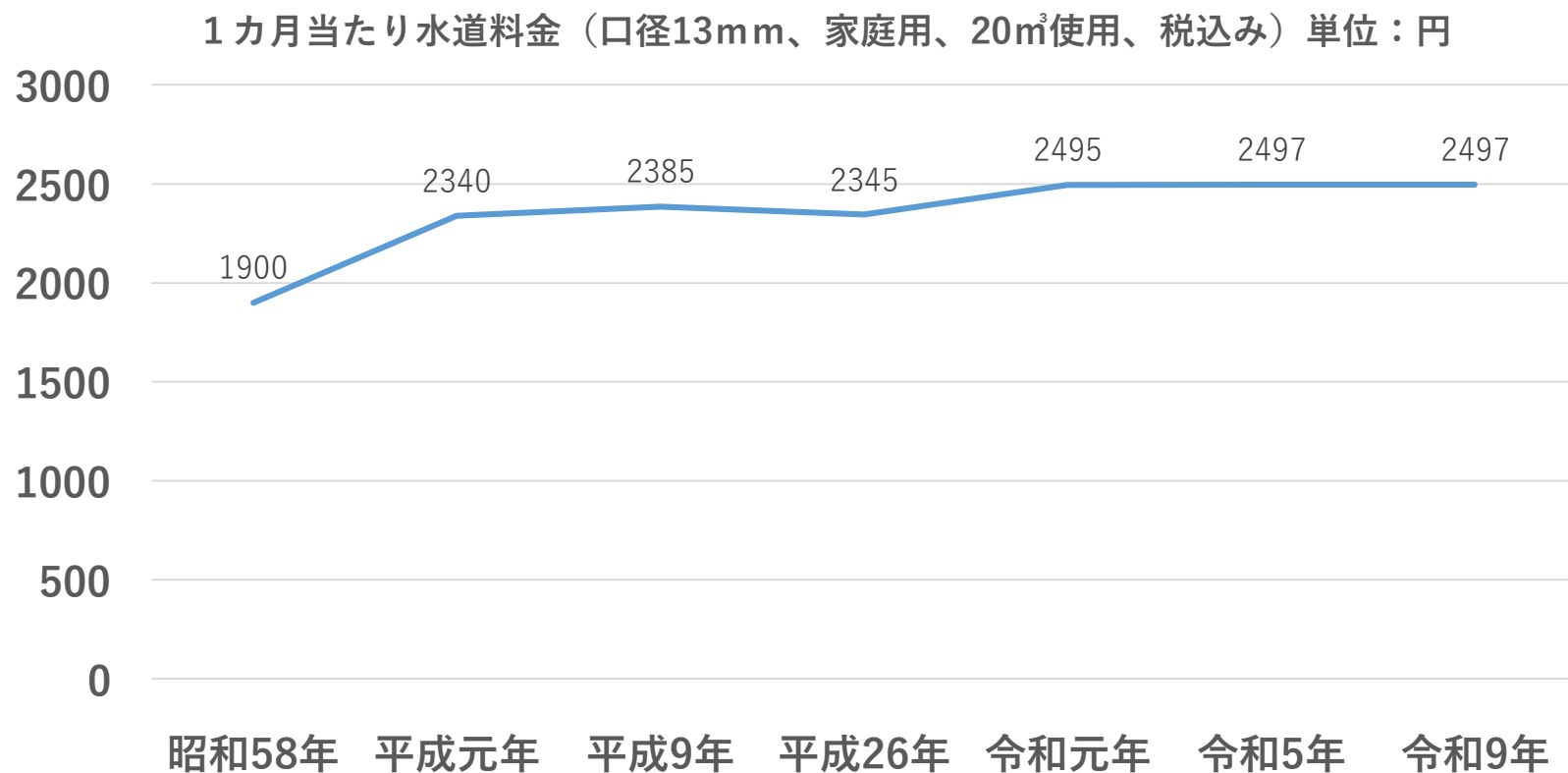
口 径	基本料金		超過料金			
	基本水量	料 金	(1m3につき)			
13mm	10m3	870円	11~20	130円	21以上	150円
20mm						
25mm	15m3	1,740円	16以上			170円
30mm						
40mm						
50mm						
75mm						
100mm						

船舶用	1m3につき	290円
中核工業団地内工業用	3,000立方メートルまで	20円
	3,001立方メートルから	40円

量水器 使用量	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm
	100円	120円	150円	500円	800円	2,000円	2,500円	3,000円

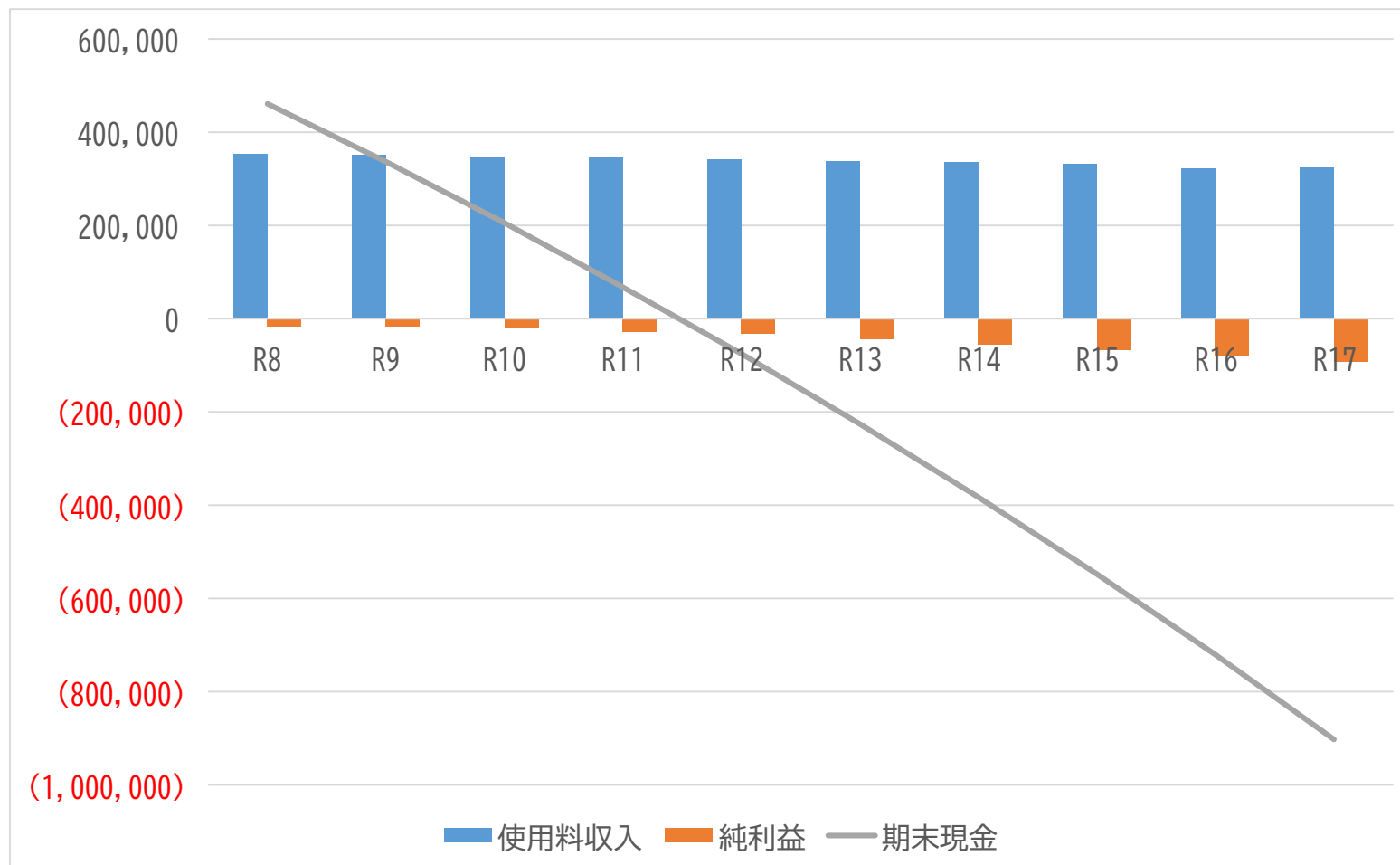
## 料金改定のあゆみ

消費税率の引き上げに伴う改定や平成26年に、使用者の用途によって料金を設定する用途別から口径の大きさによって料金を設定する口径別への改定を行ったものの、平成元年に改定を行って以降、実質的な値上げは行っておらず、37年間、料金を維持してきました。



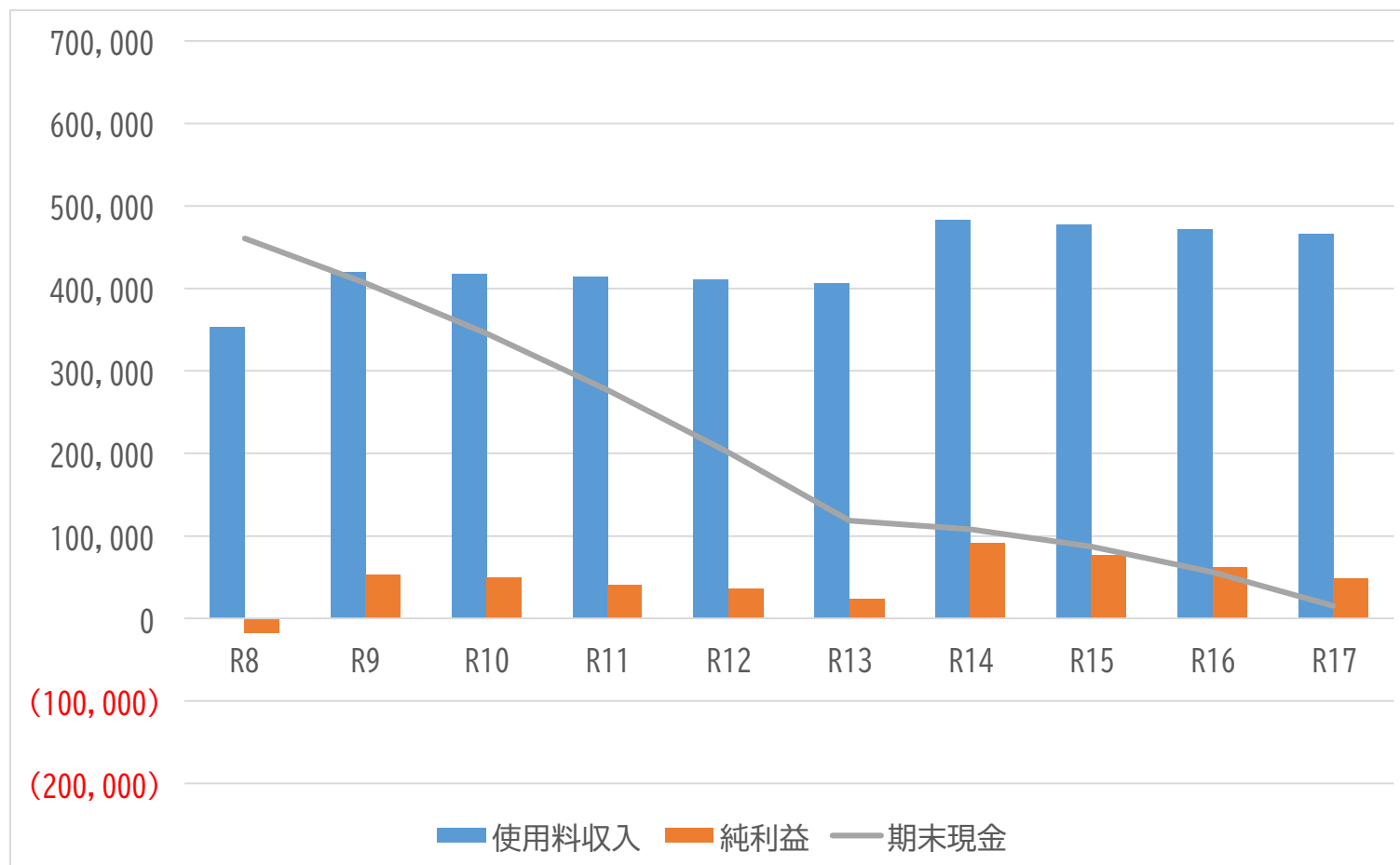
## シミュレーション① 【料金改定を行わない場合】

(単位：千円)



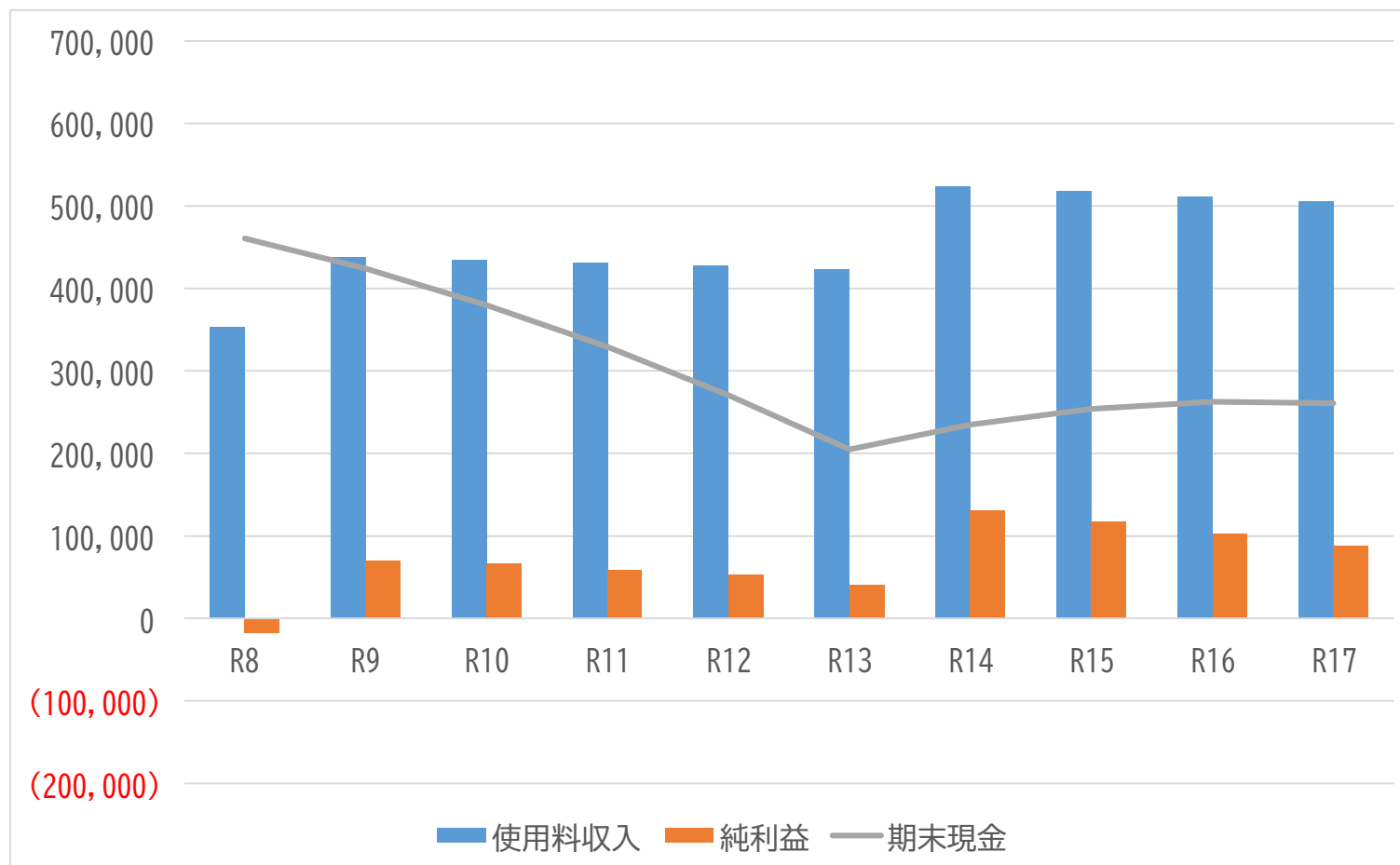
## シミュレーション② 【R9とR14に20%アップ】

(単位：千円)



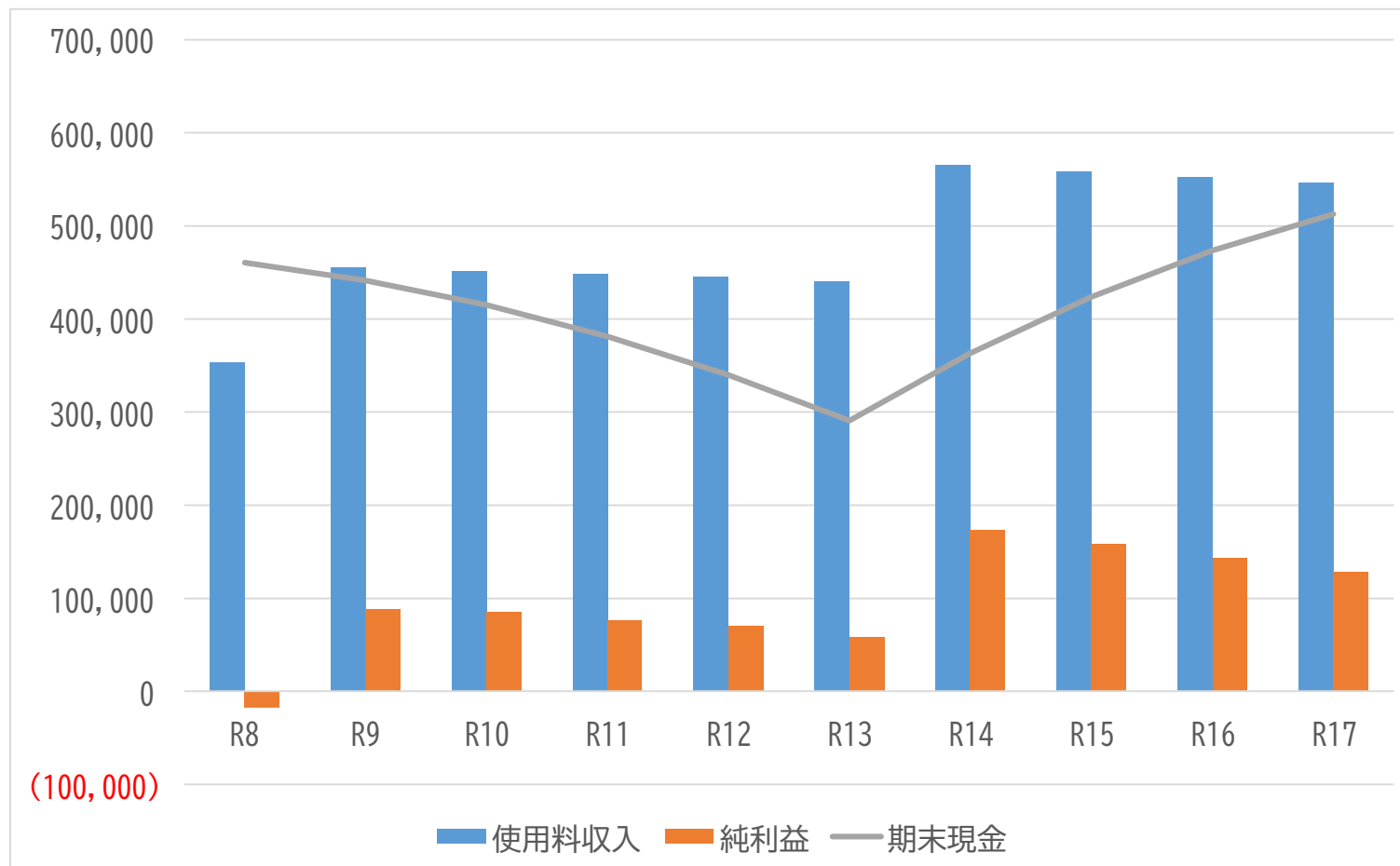
## シミュレーション③ 【R9とR14に25%アップ】

(単位：千円)



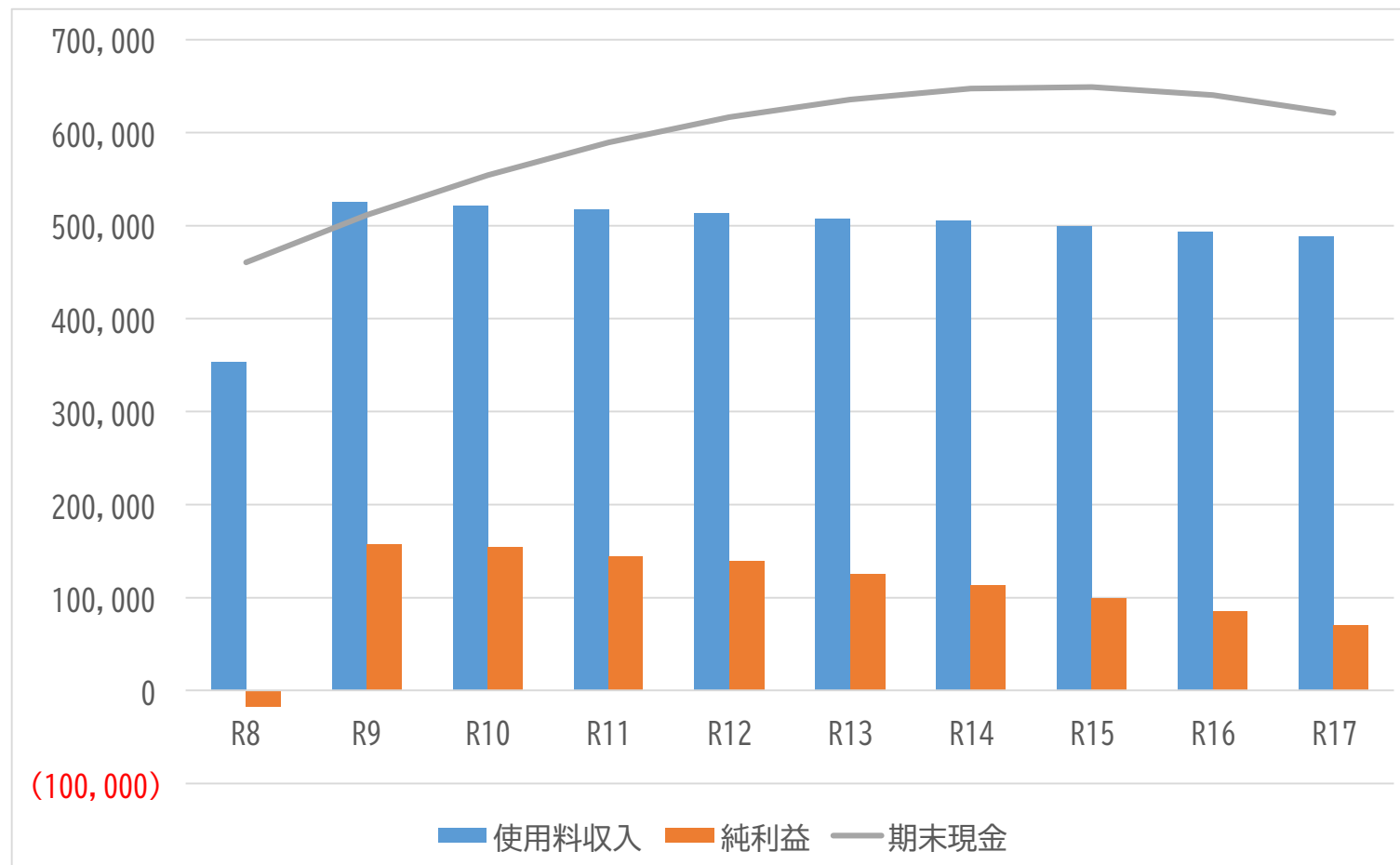
## シミュレーション④ 【R9とR14に30%アップ】

(単位：千円)



## シミュレーション⑤ 【R9に50%アップ】

(単位：千円)



## 宿毛市下水道使用料の見直しについて

## 資料目次

- 1、下水道使用料改定の目的 …28
- 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り） …30
- 3、現状の経費回収率と今後の推計 …35
- 4、下水道接続率を考慮した改定率の検討 …37
- 5、改定率ごとの使用料体系の推移と県内市の状況 …43
- 6、今後のスケジュールについて …45

## 資料目次

- 1、下水道使用料改定の目的 …28
- 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り） …30
- 3、現状の経費回収率と今後の推計 …35
- 4、下水道接続率を考慮した改定率の検討 …37
- 5、改定率ごとの使用料体系の推移と県内市の状況 …43
- 6、今後のスケジュールについて …45

## 1、下水道使用料改定の目的

宿毛市における生活排水の処理を目的とした下水道事業は、平成10年に二ノ宮地区農業集落排水施設、平成11年に小筑紫町大海地区漁業集落排水施設、平成14年に公共下水道処理施設の供用を開始しました。

各施設においては、令和5年度まで地方公営企業法非適用の特別会計として運営を行ってきましたが、令和6年度より地方公営企業法全部適用の公営企業会計としての運営をスタートしました。

令和6年度は地方公営企業法全部適用の公営企業会計として初めての決算を迎え、施設等の稼働のために必要な経費を、下水道の使用により得られる料金で賄えているかどうかを示す経営指標である「経費回収率」は、約50%という結果となりました。

これは、企業活動によって得た収入によって最低限賄うべき経費を半分程度しか賄えておらず、残りの半分は、一般会計からの補助金によって賄われているという状態を表しています。

一般会計における市税等の歳入（一般財源）には、下水道（集落排水施設を含む）未整備区域の住民が収めたお金も含まれているため、受益者負担原則の観点から下水道使用料の見直しを行うことで、「経費回収率」を改善することを目的とするものです。

一方で、近年における少子・高齢化に伴う人口減少の急速な進行や物価高騰などにより、下水道使用料の減収や施設の維持管理経費等が増加している状況にあるため、下水道使用料の見直しにあたっては、短期的に「経費回収率」を100%とするような見直しではなく、現状の下水道接続率等も踏まえ、下水道使用者にとって急激な負担増とならないよう配慮する必要があると考えております。

## 資料目次

- 1、下水道使用料改定の目的 …28
- 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り） …30
- 3、現状の経費回収率と今後の推計 …35
- 4、下水道接続率を考慮した改定率の検討 …37
- 5、改定率ごとの使用料体系の推移と県内市の状況 …43
- 6、今後のスケジュールについて …45

## 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り）

### （1）下水道事業の使用料単価、汚水処理原価、**経費回収率**

#### ・使用料単価

使用料単価は、有収水量1 m<sup>3</sup>当たりの使用料を指す指標で、「年間の下水道使用料÷年間の有収水量」という式により算定されます。

宿毛市下水道事業における使用料単価（令和6年度決算）

$$43,645 \text{ 千円 (年間使用料)} \div 350,189 \text{ m}^3 \text{ (年間有収水量)} = \underline{124.63 \text{ 円}}$$

#### ・汚水処理原価

汚水処理原価は、有収水量1 m<sup>3</sup>当たりの汚水の処理に要した経費（処理施設の稼働に必要な光熱水費や動力費、委託料など）を指す指標で、「年間の汚水処理費÷年間の有収水量」という式により算定されます。

宿毛市下水道事業における汚水処理原価（令和6年度決算）

$$85,865 \text{ 千円 (年間汚水処理費)} \div 350,189 \text{ m}^3 \text{ (年間有収水量)} = \underline{245.19 \text{ 円}}$$

#### ・経費回収率

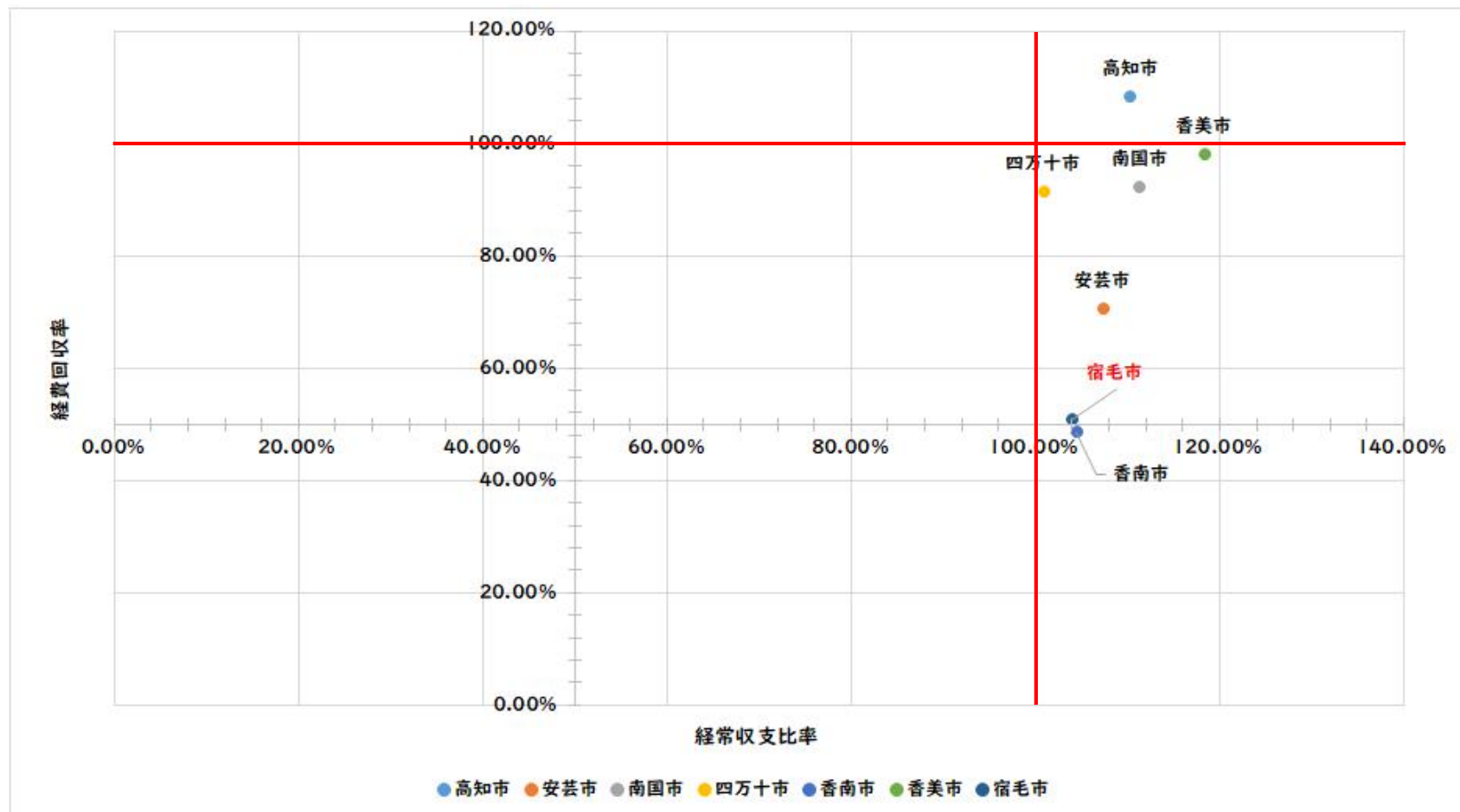
経費回収率は、使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標で、「**使用料単価** ÷ **汚水処理原価**」という式により算定されます。

宿毛市下水道事業における経費回収率（令和6年度決算）

$$124.63 \text{ 円 (使用料単価)} \div 245.19 \text{ 円 (汚水処理原価)} = 0.50829 \div \underline{50.83\%}$$

## 2、下水道事業の現状と課題(第1回の振り返り)

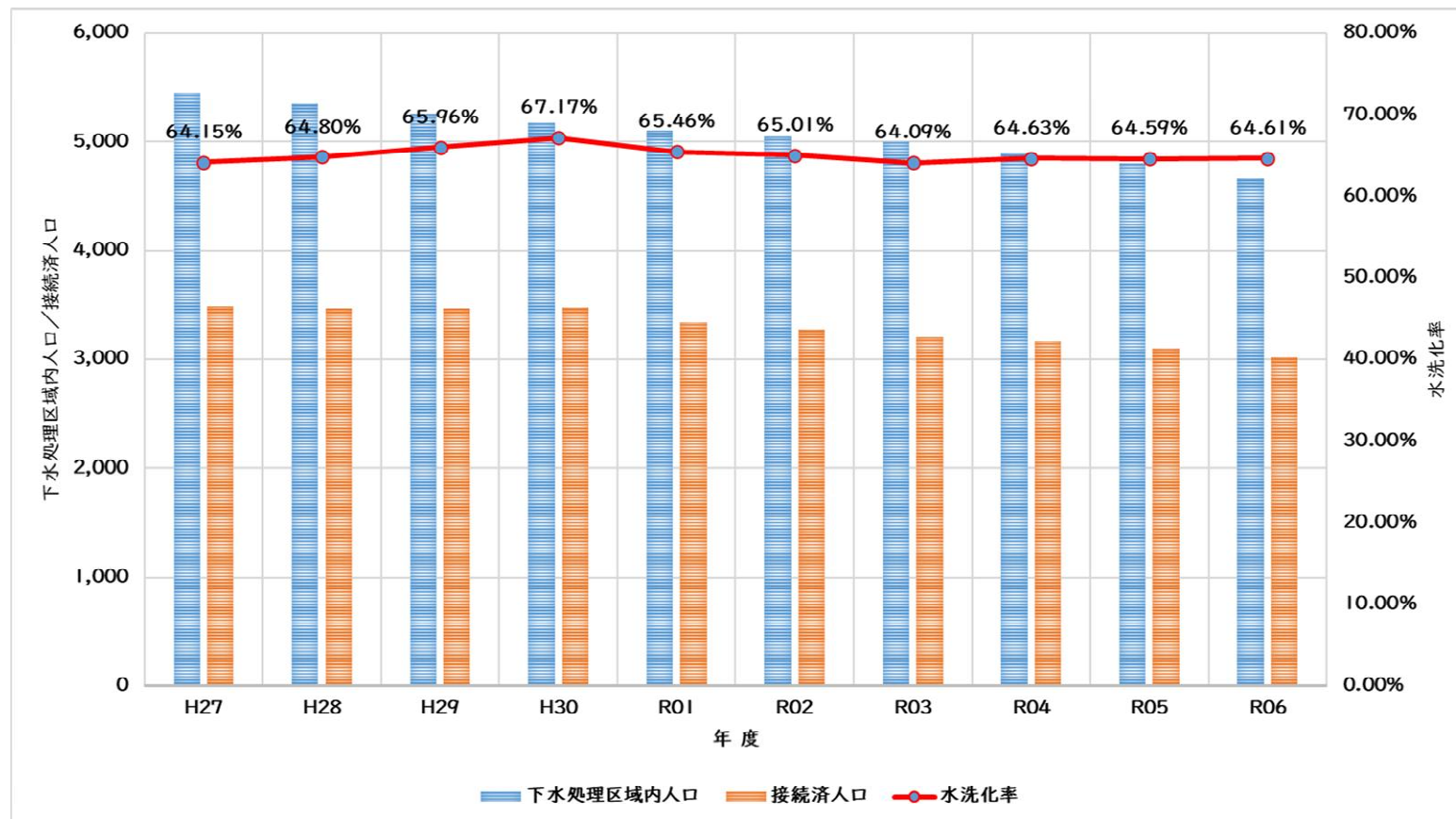
### (2) 高知県内市の経費回収率と経常収支比率(公共下水道事業)



この散布図は、縦軸が経費回収率、横軸が経常収支比率を表しています。両指標が100%を超えていれば、一定の独立採算性を有していることを表し、一方で100%を下回っている場合は、一般会計等からの基準外繰入により経営を維持していることを表しています。

## 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り）

### (3) 下水処理区域内人口、接続済人口、水洗化率の推移

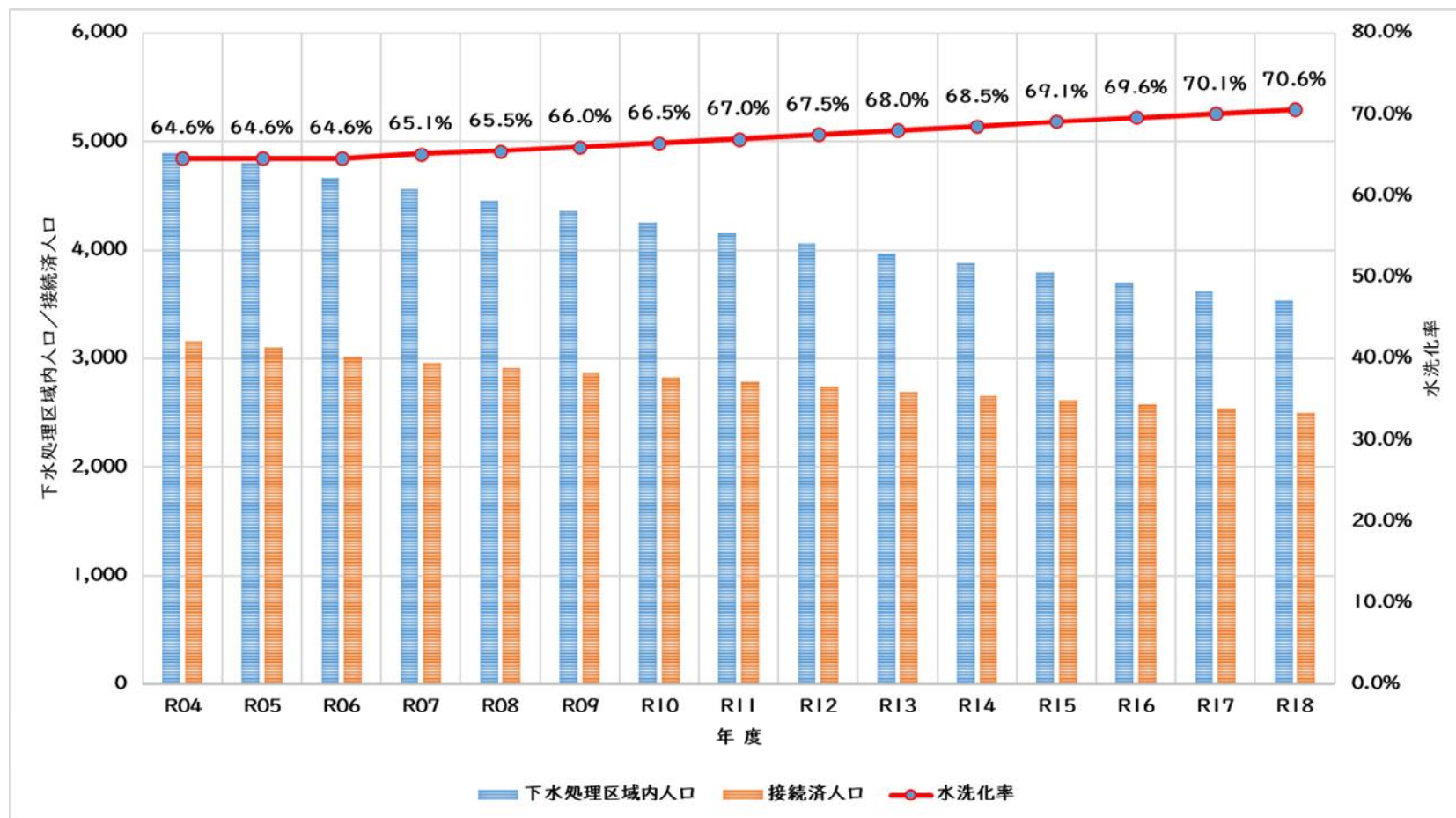


接続済人口…下水処理区域内において下水道に接続している人口を指します。(世帯数からの推計)

水洗化率…下水処理区域内人口に対する接続済人口の割合を指します。

## 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り）

### （4）今後の人口推計を踏まえた下水処理区域内人口、接続済人口、水洗化率の推計



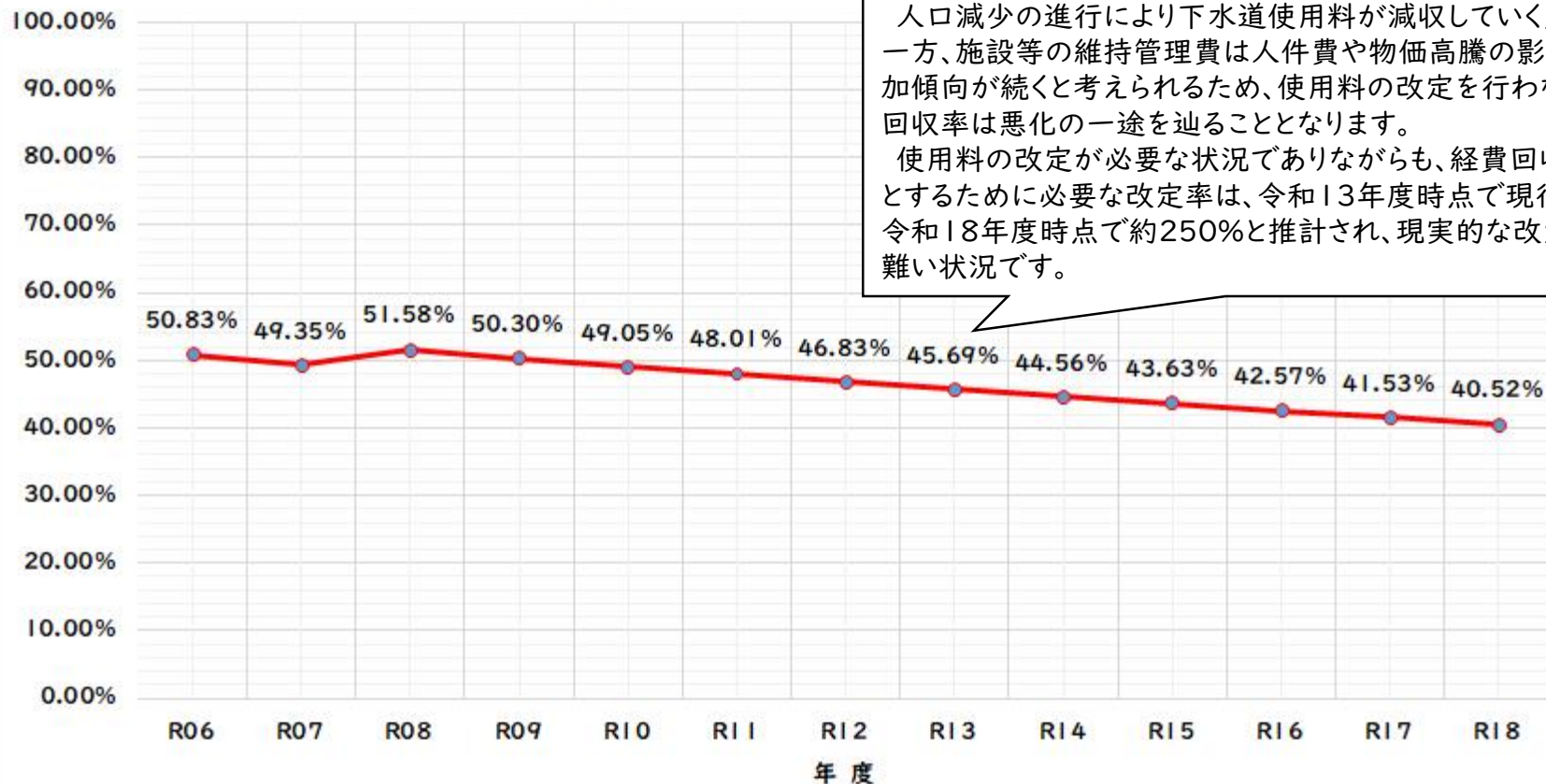
※R04～R06は決算値、R07以降は国立社会保障・人口問題研究所による人口推計値（令和5年度公表）又は近年の増減率等を考慮して推計を行っています。

## 資料目次

- 1、下水道使用料改定の目的 …28
- 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り） …30
- 3、現状の経費回収率と今後の推計 …35
- 4、下水道接続率を考慮した改定率の検討 …37
- 5、改定率ごとの使用料体系の推移と県内市の状況 …43
- 6、今後のスケジュールについて …45

## 3、現状の経費回収率と今後の推計

現在の経費回収率と今後の推計<改定無し>



人口減少の進行により下水道使用料が減収していく見込みである一方、施設等の維持管理費は人件費や物価高騰の影響を受け増加傾向が続くと考えられるため、使用料の改定を行わなければ経費回収率は悪化の一途を辿ることとなります。

使用料の改定が必要な状況でありながらも、経費回収率を100%とするために必要な改定率は、令和13年度時点で現行の約220%、令和18年度時点で約250%と推計され、現実的な改定率とは言い難い状況です。

年度	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率	50.83%	49.35%	51.58%	50.30%	49.05%	48.01%	46.83%	45.69%	44.56%	43.63%	42.57%	41.53%	40.52%
経費回収率を100%にするために必要な改定率	196.73%	202.63%	193.87%	198.81%	203.87%	208.29%	213.54%	218.87%	224.42%	229.20%	234.91%	240.79%	246.79%

## 資料目次

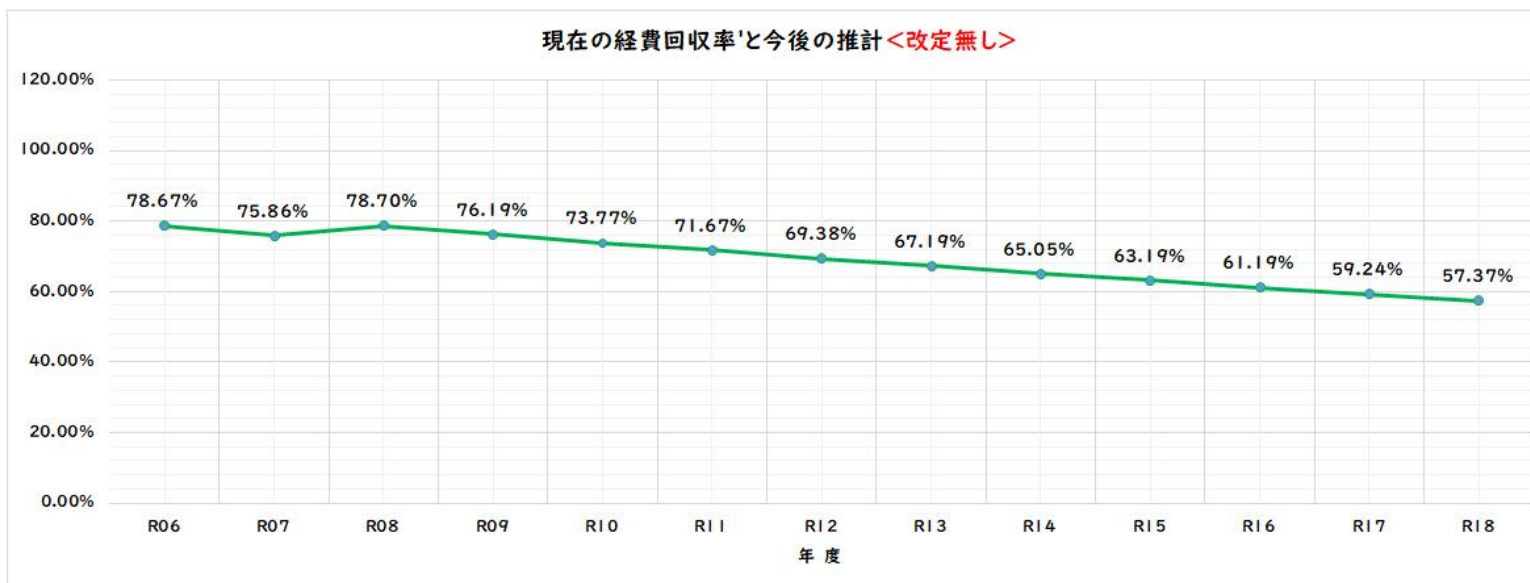
- 1、下水道使用料改定の目的 …28
- 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り） …30
- 3、現状の経費回収率と今後の推計 …35
- 4、下水道接続率を考慮した改定率の検討 …37
- 5、改定率ごとの使用料体系の推移と県内市の状況 …43
- 6、今後のスケジュールについて …45

## 4、下水道接続率を考慮した改定率の検討

### (1) ケース I <改定無し>

先ほどの「3、現状の経費回収率と今後の推計」にあるとおり、現状において経費回収率を100%とするためには、現行使用料を令和18年度においては約250%改定する必要がある、下水道施設の利用者に急激な負担増を求めることとなってしまいます。

そこで、今回の改定にあたっては、下水道接続率が60%程度であることを考慮し、仮に下水道接続率が100%であった場合において経費回収率を100%とするために必要な改定率を算定します。



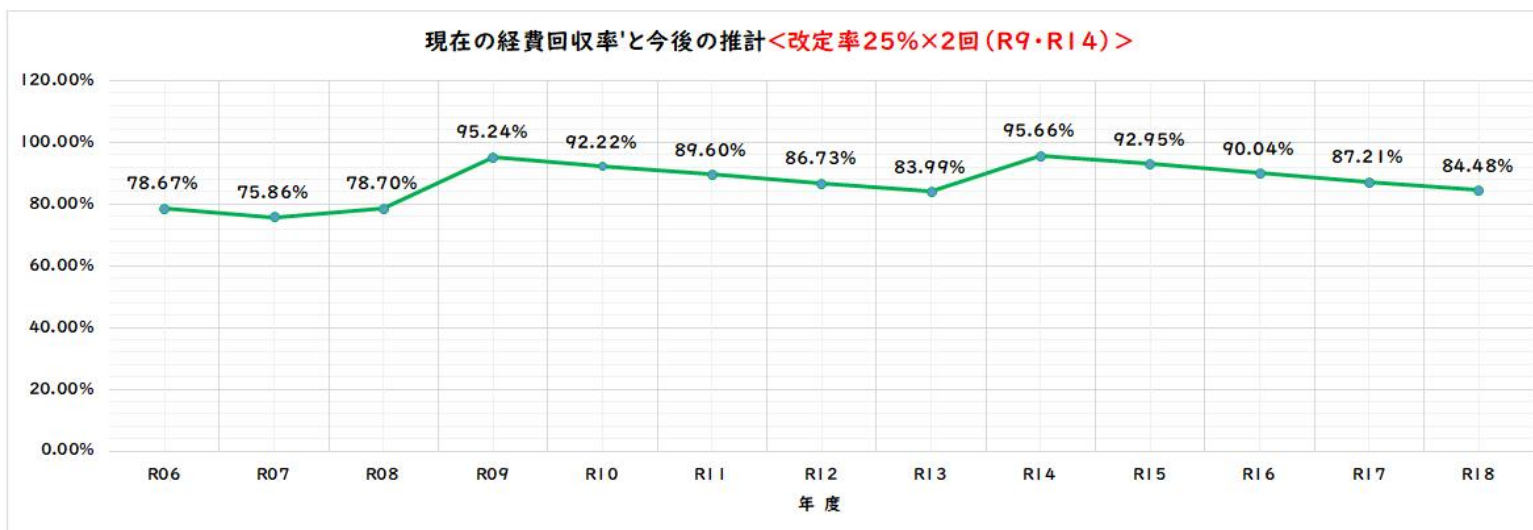
年度	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率(A)	50.83%	49.35%	51.58%	50.30%	49.05%	48.01%	46.83%	45.69%	44.56%	43.63%	42.57%	41.53%	40.52%
下水道接続率(B)	64.61%	65.05%	65.54%	66.02%	66.49%	66.99%	67.50%	68.00%	68.50%	69.05%	69.57%	70.11%	70.63%
下水道接続率を100%と仮定した場合の経費回収率'(A÷B)	78.67%	75.86%	78.70%	76.19%	73.77%	71.67%	69.38%	67.19%	65.05%	63.19%	61.19%	59.24%	57.37%
経費回収率'を100%にするために必要な改定率	127.11%	131.82%	127.06%	131.25%	135.56%	139.53%	144.13%	148.83%	153.73%	158.25%	163.43%	168.80%	174.31%

## 4. 下水道接続率を考慮した改定率の検討

### (2) ケースⅡ<改定率:25%×2回(R9・R14)>

「(1) ケースⅠ<改定無し>」における令和13年度時点での改定率である150%(148.83%)を目安に、第1段階として令和9年度に現行使用料の25%改定を行い、第2段階として令和14年度にさらに現行使用料の25%分を改定するシミュレーションを行いました。

令和13年度時点での経費回収率'は84%(83.99%)、令和18年度時点での経費回収率'も同様に84%(84.48%)で、経費回収率'100%を達成することはできない想定となりますが、一定の改善が見込めるものとなります。



→ → → → → 1 度 目 の 改 定 → → → → → 2 度 目 の 改 定 → → → → →

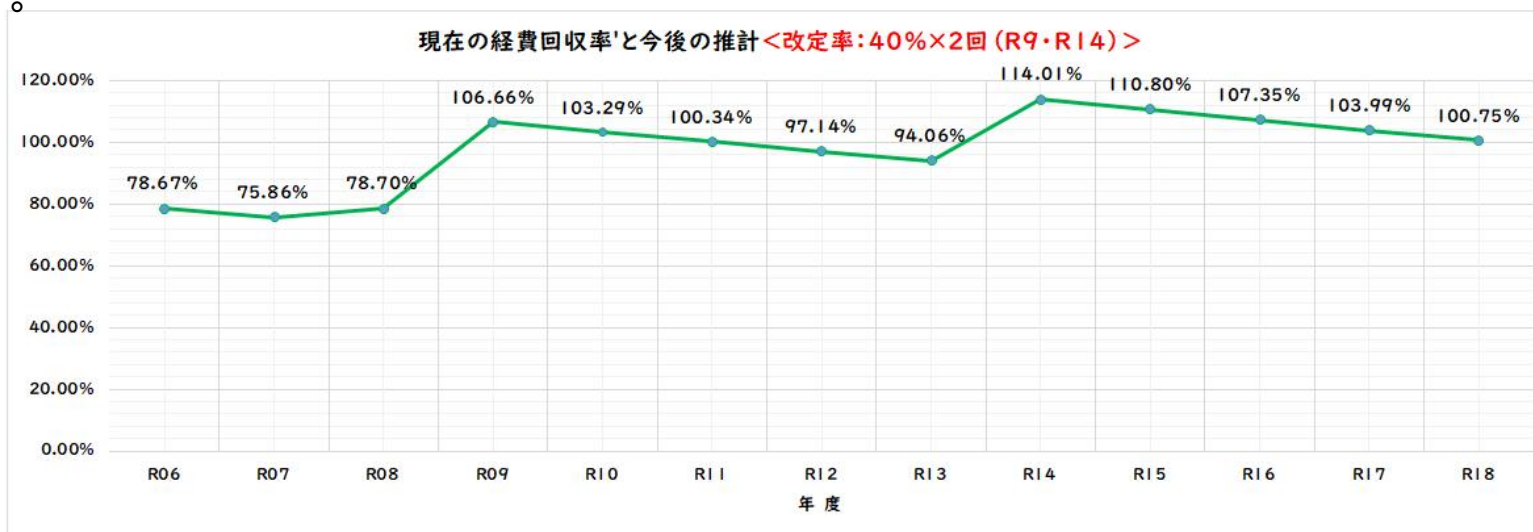
年度	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率(A)	50.83%	49.35%	51.58%	62.88%	61.32%	60.02%	58.54%	57.11%	65.53%	64.18%	62.64%	61.14%	59.67%
下水道接続率(B)	64.61%	65.05%	65.54%	66.02%	66.49%	66.99%	67.50%	68.00%	68.50%	69.05%	69.57%	70.11%	70.63%
下水道接続率を100%と仮定した場合の経費回収率'(A÷B)	78.67%	75.86%	78.70%	95.24%	92.22%	89.60%	86.73%	83.99%	95.66%	92.95%	90.04%	87.21%	84.48%

## 4. 下水道接続率を考慮した改定率の検討

### (3) ケースⅢ<改定率:40%×2回(R9・R14)>

「(1) ケースⅠ<改定無し>」における令和18年度時点での改定率である174%(174.31%)を目安に、第1段階として令和9年度に現行使用料の40%改定を行い、第2段階として令和14年度にさらに現行使用料の40%分を改定するシミュレーションを行いました。

令和13年度時点での経費回収率'は94%(94.06%)、令和18年度時点での経費回収率'は101%(100.75%)で、経費回収率'100%を達成できる想定となりますが、下水道施設利用者にとっては急激な負担増になると考えられます。



→ → → → → 1 度 目 の 改 定 → → → → → 2 度 目 の 改 定 → → → → →

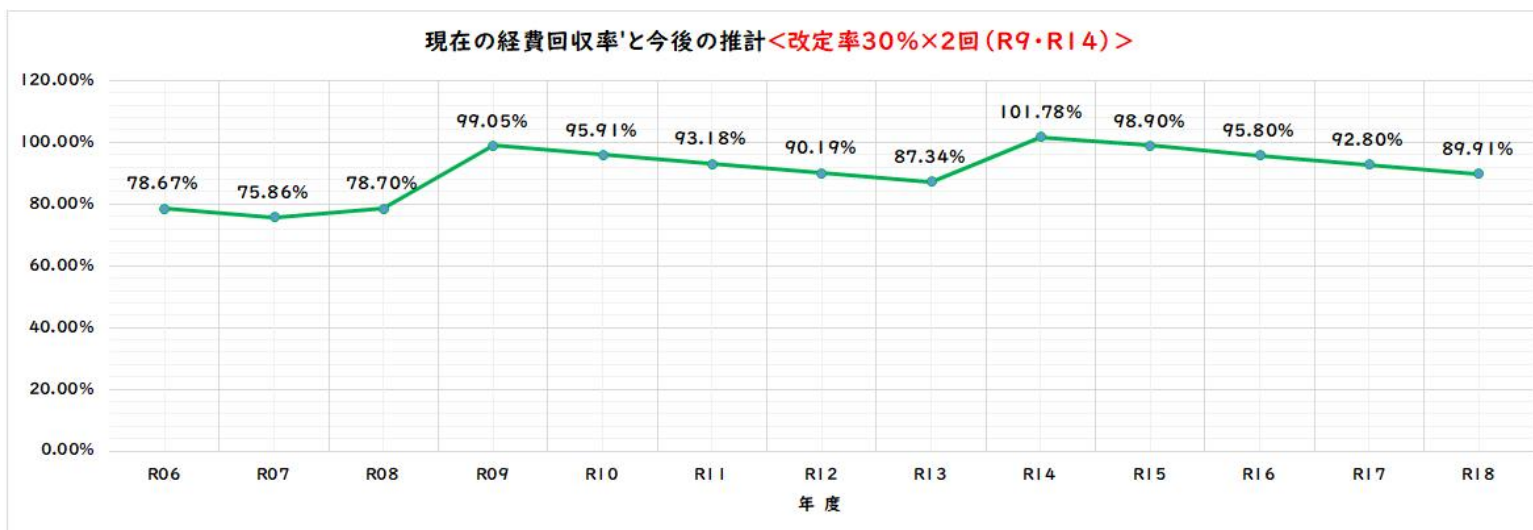
年度	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率(A)	50.83%	49.35%	51.58%	70.42%	68.68%	67.22%	65.57%	63.96%	78.10%	76.51%	74.68%	72.91%	71.16%
下水道接続率(B)	64.61%	65.05%	65.54%	66.02%	66.49%	66.99%	67.50%	68.00%	68.50%	69.05%	69.57%	70.11%	70.63%
下水道接続率を100%と仮定した場合の経費回収率'(A÷B)	78.67%	75.86%	78.70%	106.66%	103.29%	100.34%	97.14%	94.06%	114.01%	110.80%	107.35%	103.99%	100.75%

## 4. 下水道接続率を考慮した改定率の検討

### (4) ケースⅣ<改定率:30%×2回(R9・R14)>

「(2) ケースⅡ<改定率:25%×2回(R9・R14)>」と「(3) ケースⅢ<改定率:40%×2回(R9・R14)>」の中間ケースの検討で、第1段階として令和9年度に現行使用料の30%改定を行い、第2段階として令和14年度にさらに現行使用料の30%分を改定するシミュレーションを行いました。

シミュレーション結果として、令和13年度時点での経費回収率'は87%(87.34%)、令和18年度時点での経費回収率'は90%(89.91%)となります。



→ → → → → 1 度 目 の 改 定 → → → → → 2 度 目 の 改 定 → → → → →

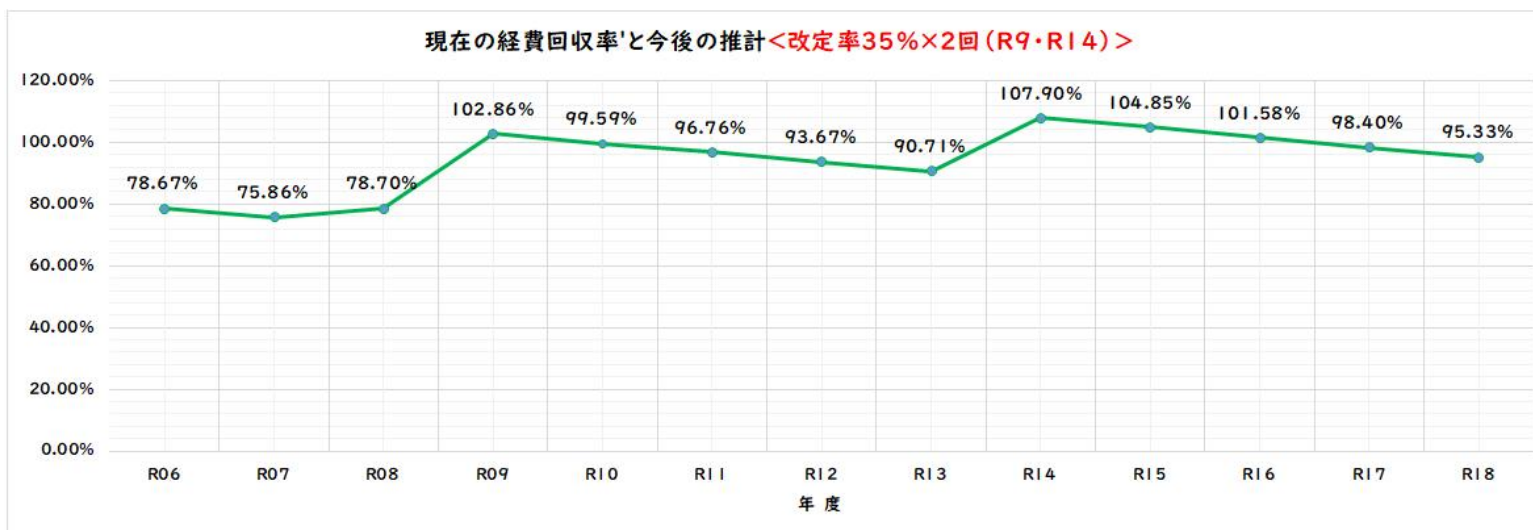
年度	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率(A)	50.83%	49.35%	51.58%	65.39%	63.77%	62.42%	60.88%	59.39%	69.72%	68.29%	66.65%	65.06%	63.50%
下水道接続率(B)	64.61%	65.05%	65.54%	66.02%	66.49%	66.99%	67.50%	68.00%	68.50%	69.05%	69.57%	70.11%	70.63%
下水道接続率を100%と仮定した場合の経費回収率'(A÷B)	78.67%	75.86%	78.70%	99.05%	95.91%	93.18%	90.19%	87.34%	101.78%	98.90%	95.80%	92.80%	89.91%

## 4. 下水道接続率を考慮した改定率の検討

### (5) ケースⅣ<改定率:35%×2回(R9・R14)>

「(2) ケースⅡ<改定率:25%×2回(R9・R14)>」と「(3) ケースⅢ<改定率:40%×2回(R9・R14)>」の中間ケースの検討で、第1段階として令和9年度に現行使用料の35%改定を行い、第2段階として令和14年度にさらに現行使用料の35%分を改定するシミュレーションを行いました。

シミュレーション結果として、令和13年度時点での経費回収率'は91%(90.71%)、令和18年度時点での経費回収率'は95%(95.33%)となります。



→ → → → → 1 度 目 の 改 定 → → → → → 2 度 目 の 改 定 → → → → →

年度	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
経費回収率(A)	50.83%	49.35%	51.58%	67.91%	66.22%	64.82%	63.23%	61.68%	73.91%	72.40%	70.67%	68.99%	67.33%
下水道接続率(B)	64.61%	65.05%	65.54%	66.02%	66.49%	66.99%	67.50%	68.00%	68.50%	69.05%	69.57%	70.11%	70.63%
下水道接続率を100%と仮定した場合の経費回収率'(A÷B)	78.67%	75.86%	78.70%	102.86%	99.59%	96.76%	93.67%	90.71%	107.90%	104.85%	101.58%	98.40%	95.33%

## 資料目次

- 1、下水道使用料改定の目的 …28
- 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り） …30
- 3、現状の経費回収率と今後の推計 …35
- 4、下水道接続率を考慮した改定率の検討 …37
- 5、改定率ごとの使用料体系の推移と県内市の状況 …43
- 6、今後のスケジュールについて …45

# 宿毛市下水道使用料の見直しについて

## 5、改定率ごとの使用料体系の推移と県内市の状況

改定ごとの使用料体系の推移(円・税抜き)

項目	宿毛市(現行)	宿毛市 (25%×1回目)	宿毛市 (25%×2回目)	宿毛市 (30%×1回目)	宿毛市 (30%×2回目)	宿毛市 (35%×1回目)	宿毛市 (35%×2回目)	宿毛市 (40%×1回目)	宿毛市 (40%×2回目)
基本料金	1,000	1,250	1,500	1,300	1,600	1,350	1,700	1,400	1,800
1㎡~10㎡	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10㎡~20㎡	110	140	170	140	180	150	190	150	200
20㎡~30㎡	120	150	180	160	190	160	200	170	220
30㎡~50㎡	130	160	200	170	210	180	220	180	230
50㎡~100㎡	150	190	230	200	240	200	260	210	270
100㎡~200㎡	150	190	230	200	240	200	260	210	270
200㎡~500㎡	150	190	230	200	240	200	260	210	270
500㎡~1,000㎡	150	190	230	200	240	200	260	210	270
1,000㎡~	150	190	230	200	240	200	260	210	270
10㎡(1月)	1,000	1,250	1,500	1,300	1,600	1,350	1,700	1,400	1,800
20㎡(1月)	2,100	2,650	3,200	2,700	3,400	2,850	3,600	2,900	3,800
30㎡(1月)	3,300	4,150	5,000	4,300	5,300	4,450	5,600	4,600	6,000
50㎡(1月)	5,900	7,350	9,000	7,700	9,500	8,050	10,000	8,200	10,600
100㎡(1月)	13,400	16,850	20,500	17,700	21,500	18,050	23,000	18,700	24,100
200㎡(1月)	28,400	35,850	43,500	37,700	45,500	38,050	49,000	39,700	51,100
500㎡(1月)	73,400	92,850	112,500	97,700	117,500	98,050	127,000	102,700	132,100
1,000㎡(1月)	148,400	187,850	227,500	197,700	237,500	198,050	257,000	207,700	267,100
10㎡(1㎡当たり)	100	125	150	130	160	135	170	140	180
20㎡(1㎡当たり)	105	133	160	135	170	143	180	145	190
30㎡(1㎡当たり)	110	138	167	143	177	148	187	153	200
50㎡(1㎡当たり)	118	147	180	154	190	161	200	164	212
100㎡(1㎡当たり)	134	169	205	177	215	181	230	187	241
200㎡(1㎡当たり)	142	179	218	189	228	190	245	199	256
500㎡(1㎡当たり)	147	186	225	195	235	196	254	205	264
1,000㎡(1㎡当たり)	148	188	228	198	238	198	257	208	267
10㎡(1年)	12,000	15,000	18,000	15,600	19,200	16,200	20,400	16,800	21,600
20㎡(1年)	25,200	31,800	38,400	32,400	40,800	34,200	43,200	34,800	45,600
30㎡(1年)	39,600	49,800	60,000	51,600	63,600	53,400	67,200	55,200	72,000
50㎡(1年)	70,800	88,200	108,000	92,400	114,000	96,600	120,000	98,400	127,200
100㎡(1年)	160,800	202,200	246,000	212,400	258,000	216,600	276,000	224,400	289,200
200㎡(1年)	340,800	430,200	522,000	452,400	546,000	456,600	588,000	476,400	613,200
500㎡(1年)	880,800	1,114,200	1,350,000	1,172,400	1,410,000	1,176,600	1,524,000	1,232,400	1,585,200
1,000㎡(1年)	1,780,800	2,254,200	2,730,000	2,372,400	2,850,000	2,376,600	3,084,000	2,492,400	3,205,200

※赤枠内は宿毛市におけるボリュームゾーン(中間層)

県内市の状況(円・税抜き)

項目	高知市	安芸市	南国市	須崎市	四万十市	香南市	香美市 (~R9.4)	香美市 (R9.5~)
基本料金	1,030	1,000	1,000	1,000	1,200	1,000	1,150	1,300
1㎡~10㎡	27	0	0	0	0	0	0	0
10㎡~20㎡	138	110	107	105	132	120	135	150
20㎡~30㎡	166	120	117	115	144	120	145	160
30㎡~50㎡	197	130	130	125	156	140	155	170
50㎡~100㎡	258	150	150	145	180	140	175	190
100㎡~200㎡	258	170	170	170	204	140	195	210
200㎡~500㎡	315	190	190	190	228	140	215	230
500㎡~1,000㎡	315	210	210	210	252	140	235	250
1,000㎡~	350	210	210	210	252	140	235	250
10㎡(1月)	1,300	1,000	1,000	1,000	1,200	1,000	1,150	1,300
20㎡(1月)	2,680	2,100	2,070	2,050	2,520	2,200	2,500	2,800
30㎡(1月)	4,340	3,300	3,240	3,200	3,960	3,400	3,950	4,400
50㎡(1月)	8,280	5,900	5,840	5,700	7,080	6,200	7,050	7,800
100㎡(1月)	21,180	13,400	13,340	12,950	16,080	13,200	15,800	17,300
200㎡(1月)	46,980	30,400	30,340	29,950	36,480	27,200	35,300	38,300
500㎡(1月)	141,480	87,400	87,340	86,950	104,880	69,200	99,800	107,300
1,000㎡(1月)	298,980	192,400	192,340	191,950	230,880	139,200	217,300	232,300
10㎡(1㎡当たり)	130	100	100	100	120	100	115	130
20㎡(1㎡当たり)	134	105	104	103	126	110	125	140
30㎡(1㎡当たり)	145	110	108	107	132	113	132	147
50㎡(1㎡当たり)	166	118	117	114	142	124	141	156
100㎡(1㎡当たり)	212	134	133	130	161	132	158	173
200㎡(1㎡当たり)	235	152	152	150	182	136	177	192
500㎡(1㎡当たり)	283	175	175	174	210	138	200	215
1,000㎡(1㎡当たり)	299	192	192	192	231	139	217	232
10㎡(1年)	15,600	12,000	12,000	12,000	14,400	12,000	13,800	15,600
20㎡(1年)	32,160	25,200	24,840	24,600	30,240	26,400	30,000	33,600
30㎡(1年)	52,080	39,600	38,880	38,400	47,520	40,800	47,400	52,800
50㎡(1年)	99,360	70,800	70,080	68,400	84,960	74,400	84,600	93,600
100㎡(1年)	254,160	160,800	160,080	155,400	192,960	158,400	189,600	207,600
200㎡(1年)	563,760	364,800	364,080	359,400	437,760	326,400	423,600	459,600
500㎡(1年)	1,697,760	1,048,800	1,048,080	1,043,400	1,258,560	830,400	1,197,600	1,287,600
1,000㎡(1年)	3,587,760	2,308,800	2,308,080	2,303,400	2,770,560	1,670,400	2,607,600	2,787,600

※香南市は区域により世帯員数及び使用人員数による算定あり

## 資料目次

- 1、下水道使用料改定の目的 …28
- 2、下水道事業の現状と課題（第1回の振り返り） …30
- 3、現状の経費回収率と今後の推計 …35
- 4、下水道接続率を考慮した改定率の検討 …37
- 5、改定率ごとの使用料体系の推移と県内市の状況 …43
- 6、今後のスケジュールについて …45

## 6、今後のスケジュールについて

### 今後の審議スケジュール(予定)

工 程	R8							R9
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～3月	4月～
第1回(市長諮問及び事業概要等説明)	▶							
第2回(改定率の説明・審議)		▶						
第3回(料金等体系改定の説明・審議)			▶					
第4回(答申案の説明・審議)				▶				
第5回(審議会答申)					▶			
条例改正議案の議会提出						▶		
広報、HPにて周知							▶	

料金等改定